

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	太陽の子大島五丁目保育園
施設所在地	東京都江東区大島5-27-13
法人名	HITOWAキッズライフ株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

宇宙

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

年度初め頃から、クラスの半分程度の子どもたちが宇宙に興味を持っていた。図鑑などで宇宙について調べていく中で惑星の存在を知り、太陽系・星等に興味を広げていった。子ども同士で得た知識を共有する中で芽生えている探究心を支えていきたいという思いから、宇宙というテーマを設定した。日常の活動や夏祭り、運動会等のイベントに積極的に宇宙を取り入れてきた。その中で子どもたちがアトリエを宇宙にしたい。という夢を持った。アトリエは年長のクラスと繋がっており、いつでも宇宙をつくることのできる場所であった。

2. 活動スケジュール

4~6月	保育室にあった宇宙の絵本を読みこみ、興味関心を深めた。
7~8月	・ゆびえのぐを使い、自分なりの惑星を表現し、室内につるすことを楽しんだ。 その中で、「本物そっくりの宇宙をつくりたい」という思いが芽生える。 ・毎年夏祭りで製作しているおみこしのテーマ決めで「宇宙のおみこしを作りたい」と意欲を持つ。製作を開始する。
9~10月	・関心のさらなる高まりの中で、身近な玩具や素材を活用し宇宙を様々な方法で形にしていく姿が見られるようになる。 ・お月見の製作をきっかけに、「月を見てみたい」と興味を広げる。 ・保育室の押入れを開放し、宇宙部屋を作る。 ・絵本や図鑑、模型等で探究活動を深めていく。
11~1月	「アトリエを宇宙にしたい。」という共通の目的に向かって、製作を開始する。 完成した部屋をお迎え時に保護者に公開。 同時期に天体望遠鏡で月の鑑賞会と共にホームシアターを使用し惑星や星を観察できるプラネタリウムの上映を計画、実施する。
2月	活動のまとめ、宇宙の公開範囲を広げる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・探究心を広げられる絵本や図鑑、模型等
・宇宙部屋を作成する為のテーブルや椅子
・天体望遠鏡
・製作活動に使用するもの 風船、ボンド、のり、蛍光絵の具、パレット、筆、とき皿、模造紙（黒、紺）、和紙、カラーポリ タックシール、モール、ゆびえのぐ、ホームシアター（プラネタリウム）、ソフト テーブルライト、ブラックライト、ブクライト、懐中電灯

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- 1, 絵本や図鑑を開いて興味を広げる。
- 2, 宇宙をテーマにしたおみこしを制作する
- 3, 宇宙を探究する環境を広げる。
- 4, アトリエを宇宙にする大型製作を行う。
- 5, 身近な人たちに公開する。月の鑑賞会、プラネタリウムを楽しむ
- 6, 公開範囲を広げていく。地域の保育園や幼稚園に招待状を送り、宇宙に招待する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

年度の前半は、宇宙への関心を高める中で、様々な形で製作活動を楽しんだ。
当初は特に関心の深い児は限られていたものの、身近な遊びに主体的に活かす等、クラス全体としての興味に変化していった。「アトリエを宇宙にしたい」「お月様の中にうさぎをみたい」等積極的に意欲を表現していた。
保育室の押し入れを活用し、宇宙部屋という探究活動にじっくり打ち込める環境を作ってから、イラストを書いて壁に掲示したりクイズを書いて友だちと楽しんだりする様子も見られるようになった。最終の目的となった宇宙の製作では、失敗も繰り返しながら工夫を重ね、主体的に参加していた。「ここはこんな風に工夫して、こうしたい」というように、周囲と意見を豊かに交わす場面も多く見られた。
クラスの仲間と時間をかけて取り組んできたことが確かな自信と喜びに繋がったようだ。自分たちで作上げた作品を保護者に公開し、製作過程での出来事や工夫点、惑星の豆知識等を伝えたりして達成感や喜びを深めた。
それを経て、元々交流を持っていた地域の保育園や幼稚園の子どもたちにも見せたいと意欲を深め、子どもたちで招待状を作成し渡しに行った。
園内の保育者、他クラス等、公開範囲をさらに広げていくことに意欲的な姿が見られている。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

興味のある分野を子どもたち自身で調べ、興味の幅を広げていく中で、最終の大きな目的を達成した喜びを味わうと共に、それを身近な大人に共有することで強い達成感を得ることができた。取り組み前よりも、図鑑を開いて気になることを探究することへの意欲が高まり、今回のテーマに限らず、様々な図鑑を開いて深めるを楽しむ姿や、身近なものに疑問を感じ保育者に尋ねる姿がよく見られるようになった。

また、「アトリエを宇宙にする」というクラスとしての目的を達成し、身近な人を招待する経験から、地域の人たちを招待したいという思いに広がりを見せた。これも、身近な物に対する興味から、身近ではない「宇宙」について知り深めるという経験が、園内から園外に意識を広げる一歩となったことが伺える。

子どもたちの力で思いを形にすることができる喜びを子どもたちと共に改めて実感することができた。子どもたちは取り組みの過程で、自分の考えや意欲を積極的に周囲に発信する姿が見られた。子どもたちの意欲や言葉を拾い、保育の中で実現していく活動を繰り返すことが子どもが思いや考えを言葉にする意欲や雰囲気づくりに繋がることを感じた。